

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 ☎763-5110  
 会長 加藤 敏昌  
 幹事 青山 敏郎  
 会報委員長 小池 宗

No. 36

## ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらす

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第230回例会 昭和62年3月17日(火) 雨

- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告  
 会員 57名 出席 33名  
 出席率 57.89%  
 前回 3月10日 (修正出席率) 100%
- ◇ ビジター紹介 豊橋RC森バストガバナー他5名
- ◇ お誕生日祝福  
 竹内君(3/20)、成田君(3/21)
- ◇ ニコボックス  
 谷口 暢宏君 石川さん、本日はありがとうございました。  
 小林 明君 先日の千種RCゴルフ大会で家内が、和合コース№17ホールでホールインワンをいたしました。当日同伴の加藤会長、鷲野さん、笹野さんはじめ皆様本当にありがとうございました。  
 渡辺 辰夫君 欠席ばかりで申し訳ありません。  
 小笠原 清君 ゴルフ会初参加でパートナーの皆さんに御迷惑をおかけいたしました。又小林さん夫人のホールインワンをお祝いで。  
 大口 弘和君 ゴルフ会優勝しました。  
 竹内 真三君、成田 良治君 誕生日祝い。
- ◇ 青山幹事報告  
 1. 第272地区宇土RCより認証状伝達式(4/29)のご案内がきておりますので、参加御希望の方は事務局までお申し出下さい。

- ◇ バナー紹介  
 帯広西RC 竹内 真三君
- ◇ 加藤(敏)会長挨拶

皆様は、手術というものに対して、真先に思い浮かべられるのは、痛みを含めた恐怖感だと思いますが、私たち外科医が手術する場合患者に、強い痛みを与えるようなことを仮にしたら、体動を生じ繊細な手術は、とても行われません。

従って、手術に対する痛みの恐怖感、頭

の中から抹殺して下さい。又、泉鏡花は、明治88年に、「外科室」というタイトルでエッセイを書いています、その中に麻酔に関して次のように触れています。

「伯爵夫人は、意中の秘密を夢現の間に人に洩かむことを恐れ、死をもってこれを守らんとするなり」

現在も行なわれているかどうか存じませんが、精神科では、患者を軽い迷朦状態において、精神分析をしていたようですが、私たちが、麻酔をかける場合に、伯爵夫人の心配したような状態は、決してありませんので御安心下さい。

かつて、私はどこで手に入れた知識か記憶にありませんが、メスを持つ者は、手術室に入る前と、手術後の顔を鏡で確認するという考え方を得ましたので、今でも私はこれを実行しております。確かに、満足に行いえた手術の場合と、不本意な手術に終わった場合と、己の顔貌に変化があります。私は、これを一つの反省材料にし外科医の道のあるいて参りましたが、これからもその心算です。

### ◇ 講演

“香を聞く”

石川 阿季子 さん(紹介 谷口君)



香道は、情操教育の一分野であり、我々の感情を暖かに導き、豊かな心で人生を全うする為めの芸術である。

三条西 堯山  
香の歴史と、香木について簡単な説明

古代エジプトでは、第5～6王朝時代(B.C. 2500)既に使用しており、ギリシャ(B.C. 4 Cent)、ローマ(A.D.1.)と受け継がれていたが、東洋では、中国人が3Cent頃から、宗教的方面に香を使用していたばかりでなく、化粧用にしたり、工業用としても愛用していた。日本人が香を知ったのは、仏教伝来(538)の結果と考えられ、仏前を浄め料として、自分自身の身心を浄め、又は粉末を作って服用し、時には手にもつけた。8世紀頃になると、宮廷貴族社会で流行し、部屋に薫物をたいて、衣服に香りを移し快感に浸っていた。10世紀には、趣味の世界、15世紀頃までは、上流社会の優雅な遊びとして君臨するが、所詮平和の社会の現象であった。

香気の人間に対する優れた作用が広く感じられるようになり、香の十徳が、唱えられる。最初にその方式、作法を決定したのが、三条西実隆(御家流の祖)であり、その普及の先駆を努めたのが、志野宗言(志野流の祖)である。19世紀には、香をたく技術や、組香の研究が行なわれるに至ったが、その後期では、明治維新の変革の影響を受け、衰退の一途を歩み、20世紀の後半から、漸く日本の伝統芸術の一つとして、世人の関心を得、脚光を浴びるようになり、今日に及んでいる。

香木は、熱帯地方に太古繁茂していた或種の樹木が土中に埋もれ、地熱の為に木質分が変質し樹脂が凝集し、芳香を放つようになった物質を沈又は、伽羅とも奇南とも云い、概して香と言う。

但し香にはいま一つ樹そのものが芳香を発散するものも、今日では含めている。前者は沈の系統、後者は白檀系に属する。

種類は、伽羅、羅国、真南蛮、真那加、佐曾羅、寸聞多羅と六つの木所(主産地)を称して六国と言う。その味わいは、辛、甘、苦、酸、鹹、の五味であるが、人によって感じ方は違う事もある。

そこで香道とは、一定の作法に従って特定の香木をたき、その匂いを文学的テーマのもとで鑑賞する芸道である。

記号	木所	五味	主産地
一	伽羅	辛	印度
二	羅国	甘	タイ
三	真南蛮	酸	マナバル
ウ	真那加	無	マラッカ
花一	佐曾羅	鹹	サソリー島
花二	寸聞多羅	苦	スマトラ
花三	新伽羅		インド

経飛 山梅香  
白雲のたなびく  
山の山々々々  
いつれか  
ゆき

山梅香組  
遠山 玉柳山 三  
白雲 汀雲 花  
梅 の木山 一

昭和六年正月十七日  
堯山 之

沈 阿香子  
出方

第41回ゴルフ会成績

(和合C.C. 3/12(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	大口 弘和	48	44	92	22	70
準優勝	永井 正義	40	44	84	8	76
3位	水野 賀統	46	40	86	10	76
B B	原 富士雄	61	59	120	25	95

(参加者 15名)

第19回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	小林 照子	60	54	114	32	82
準優勝	成田真砂子	65	59	124	33	91
3位	竹内 逸子	57	64	121	26	95
B B	安藤菜知子	72	65	137	32	105

(参加者 7名)

お天気も最高のゴルフ日和となり、何せ天下の和合コース、汗をかきかき奮戦の結果、大口 弘和君が優勝。そして17番ホールにて見事ホールインワン、と劇的なドラマを演じたのは、小林 照子さんでした。“おめでとう” 今後皆様のご健闘をお祈りします。

◇次回例会(3月24日)

講演 “鷹と自然保護”  
日本ワシタカ研究センター常務理事 所長  
中島 欣也 氏 (紹介 斉藤君)

◇次々回例会(3月31日)

講演 “売上税について”  
会員 青山 敏郎 君